

問1 日本の諸地域の産業構造について、広島県の特徴を「工業」と「観光」の両面から説明したものととして最も適切なものはどれですか。 (2016年

和歌山県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 宿泊者数は4県の中で最も多いが、製造品出荷額は1兆円を下回り、観光業への依存度が極めて高い。 | 2. 製造品出荷額が8兆円を超えて非常に高く、さらに世界遺産などの観光資源により宿泊者数も多いという、工業と観光のバランスが取れた構造である。 | 3. 製造品出荷額よりも農業産出額の方が大きく、特にサクランボや米の生産に特化している。 | 4. 農業産出額においてミカンなどの果実が占める割合が突出しており、製造業は地場産業を中心とした小規模なものに留まっている。 |
|---|---|--|--|

問2 島根県東部における1989年と2019年の工業団地の分布を比較すると、近年は新しく整備された自動車専用道路（国道9号・54号のバイパス等）の沿線に工業団地が目立つようになっていきます。このような工業の立地傾向について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2024年

島根県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 騒音問題を避けるため、交通量の多い道路沿いから鉄道沿線へと移転が進んだ | 2. 高速道路網の整備にともない、製品の搬出に適した道路沿いへの立地が進んだ | 3. 大型船の入港を前提とした重化学工業が、内陸のバイパス沿いに進出した | 4. 労働力を確保するため、駅前などの鉄道の利便性が高い場所に集約された |
|--|--|--------------------------------------|--------------------------------------|

問3 本州四国連絡橋の3つのルートのうち、岡山県を起点として香川県へとつながる「児島・坂出ルート」が持つ、他の2つのルート（神戸・鳴門ルート、尾道・今治ルート）にはない交通上の大きな特徴を説明したものととして、正しいものを選びなさい。 (2018年 大阪府公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------------------------------|---------------------------------------|----------------------------------|--------------------------------|
| 1. 有料道路ではなく、一般国道として無料で通行することができる。 | 2. 自転車や歩行者が専用道路を通じて渡ることができる唯一のルートである。 | 3. 3つのルートの中で唯一、鉄道が走行できる構造になっている。 | 4. 本州と四国を島を介さずに直接一つの橋だけで結んでいる。 |
|-----------------------------------|---------------------------------------|----------------------------------|--------------------------------|

問4 九州地方の最北端に位置する福岡県北九州市は、海を隔てて本州と隣接しており、交通の要所となっています。この北九州市から見て、対岸の本州側の最西端に位置する県はどこですか。 (2017年 長野県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 山口県 | 2. 広島県 | 3. 島根県 | 4. 福岡県 |
|--------|--------|--------|--------|

問5 鳥取県付近から南下し、岡山県・香川県付近を通過して愛媛県方面へと向かうルートを移動する際に観察できる、中国・四国地方の景観の移り変わりとして最も適切なものはどれですか。 (2014年 沖縄県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 雪の多い山岳地帯から、ビニールハウスによる促成栽培が盛んな平野を通り、真珠の養殖筏が並ぶ入り江へ続く景観 | 2. 鳥取砂丘から、瀬戸内海沿岸の石油コンビナートや瀬戸大橋を通り、愛媛県のミカン畑へ続く景観 | 3. 広大な干拓地から、日本有数の製鉄所が並ぶ工業地帯を通り、太平洋に面した茶畑へ続く景観 | 4. リアス海岸が続く沿岸部から、巨大なカルデラをもつ火山群を越え、シラス台地の広がる平野へ続く景観 |
|---|---|---|--|

問6 中国地方の瀬戸内海沿岸に位置する広島県の県庁所在地について、国の出先機関や民間企業の支店が多く集まり、その地方の政治・経済を支える役割を持つ都市の分類として最も適切なものを次から選びなさい。 (2016年 岐阜県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------|---------------------------|-----------|--------------|
| 1. 地方中枢都市 | 2. 政令指定都市（ただし、地方中枢都市ではない） | 3. 工業指定都市 | 4. 首都圏機能分担都市 |
|-----------|---------------------------|-----------|--------------|

問7 中国・四国地方の各県の製造品出荷額の内訳を比較した統計において、山口県は岡山県や広島県といった近隣の県と比べて特定の業種の割合が非常に高く、県全体の出荷額の約3割を占めているという特徴があります。この山口県で特に盛んな、石油化学コンビナートなどが形成されている工業の名称として適切なものはどれですか。 (2022年 鳥取県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------|--------|---------|---------------|
| 1. 食料品工業 | 2. 鉄鋼業 | 3. 化学工業 | 4. 輸送用機械器具製造業 |
|----------|--------|---------|---------------|

問8 中国・四国地方を「日本海に面する地域」「瀬戸内海に面する地域」「太平洋に面する地域」の3つに区分したとき、鳥取県が分類される地域の説明として最も適切なものを選びなさい。 (2026年 大阪府公立入試 類似)

- | | | | |
|---------------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 兵庫県から広島県にかけて続く、大規模な工業地帯が形成されている地域。 | 2. 四国山地の南側に位置し、黒潮の影響で年間を通じて温暖多雨な地域。 | 3. 中国山地の北側に位置し、冬には雪が降りやすい日本海側の地域。 | 4. 本州と四国の間に広がる波の穏やかな海に面し、交通網が発達した地域。 |
|---------------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------------|

問9 愛媛県では、化学工業の製造品出荷額や野菜の産出額に比べて、果実産出額が非常に多いという産業上の特色があります。このように愛媛県で柑橘類の栽培が特に盛んになった理由として、最も適切な地理的条件はどれですか。 (2019年 三重県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---------------------------------------|--|
| 1. 広大な平野部が広がり、大型機械を用いた効率的な大規模経営が可能であるため | 2. 年間を通じて降水量が極めて多く、果実の成長に不可欠な水分を常に確保できるため | 3. 大消費地である京阪神市場に隣接しており、野菜の近郊農業が発展したため | 4. 瀬戸内地方特有の温暖な気候に加え、日当たりの良い傾斜地が豊富にあるため |
|---|---|---------------------------------------|--|

問10 四国地方の山地の南側斜面において、みかんなどの柑橘類の栽培が盛んに行われている理由として、自然環境の面から説明したものととして最も適切なものはどれですか。 (2018年 東京都公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 海岸沿いに広がる広大な砂丘地帯において、スプリンクラーなどの灌漑設備を整え、水はけの良さを活かしているため。 | 2. 付近を流れる暖流の影響で年間を通して温暖であり、南向きの斜面で日当たりが良く、排水や寒暖差の条件が適しているため。 | 3. 冬に北西から吹く季節風がもたらす大量の積雪を、春先の農業用水として安定して利用できる地形であるため。 | 4. 夏に発生しやすい冷害を避けるため、標高の高い傾斜地を利用して冷涼な気候を維持し、害虫の発生を抑えているため。 |
|---|--|---|---|

問11 日本の諸地域のうち、香川県の高松市などに代表される瀬戸内地域の気候において、年間を通じて降水量が少なくなる主な要因は何ですか。 (2016年 群馬県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 標高の高い中国山地と四国山地に挟まれた盆地状の地形で、常に上昇気流が発生して雲が消滅するため | 2. 北側の中国山地と南側の四国山地が、湿った季節風を遮る壁のような役割を果たしているため | 3. 南側の四国山地が台風の接近を完全に防ぎ、夏から秋にかけての降水がほとんど見られないため | 4. 北側の中国山地から吹き下ろす冷たい風が、冬の間に大量の雪を降らせて空気中の水分を奪うため |
|---|---|--|---|

問12 瀬戸内海沿岸の地域では、北側の中国山地と南側の四国山地によって季節風がさえぎられる影響で、年間を通して降水量が少ないという特徴があります。このような気候条件のもと、農作物を育てるための水を確保する目的で、古くからこの地域で数多く作られてきた施設は何と呼ばれますか。 (2020年 岩手県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|-------|--------|--------|
| 1. ため池 | 2. 輪中 | 3. 遊水池 | 4. 干拓地 |
|--------|-------|--------|--------|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 製造品出荷額が8兆円を超えて非常に高く、さらに世界遺産などの観光資源により宿泊者数も多いという、工業と観光のバランスが取れた構造である。	広島県は、厳島神社や原爆ドームといった世界的な観光地を有するため宿泊者数が非常に多い一方で、重化学工業を中心とした製造品出荷額も全国上位に位置しています。これに対し、山形県は米、和歌山県は果実（ミカンなど）の農業産出額に特徴があり、京都府は観光面での強さが際立っていますが製造品出荷額の規模では広島県に及びません。
問2	答え 2 高速道路網の整備にともない、製品の搬出に適した道路沿いへの立地が進んだ	近年の地方における工業立地は、道路交通網の発達に強く影響を受けています。バイパスや高速道路などの自動車専用道路は、信号が少なく安定した時間で製品を運べるため、製造業にとって大きな利点となります。島根県東部の事例でも、国道バイパスの整備に合わせて工業団地が形成されており、海辺の港湾や駅近くの立地よりも、陸上輸送の拠点となる道路沿いが選ばれている状況を説明しています。
問3	答え 3 3つのルートの中で唯一、鉄道が走行できる構造になっている。	岡山県と香川県を結ぶ児島・坂出ルート（瀬戸大橋）は、本州四国連絡橋の中で唯一、JRの列車が走行する鉄道道路併用橋となっています。これにより、特急列車や貨物列車が四国と本州を直接行き来することが可能になりました。自転車や歩行者が渡れるのは「しまなみ海道（尾道・今治ルート）」の特徴です。
問4	答え 1 山口県	本州の西端に位置する山口県は、関門海峡を挟んで九州地方と向かい合っています。北九州市にとっては本州への入り口、山口県にとっては九州への入り口として、古くから人や物の往来が盛んな地域です。選択肢にある広島県や島根県も中国地方の県ですが、九州と直接接しているのは山口県のみです。
問5	答え 2 鳥取砂丘から、瀬戸内海沿岸の石油コンビナートや瀬戸大橋を通り、愛媛県のミカン畑へ続く景観	中国・四国地方を北から南へ横断する場合、まず日本海側（山陰）では鳥取砂丘に代表される海岸地形が見られます。次に中央部の瀬戸内海沿岸（瀬戸内）へ進むと、波の静かな環境を活かした石油コンビナートなどの重化学工業地帯や、本州と四国を結ぶ瀬戸大橋が位置しています。さらに南下した四国（南四国）の愛媛県などでは、温暖な気候と傾斜地を活かしたミカン栽培が盛んであり、ミカン畑の広がる景観が特徴です。
問6	答え 1 地方中枢都市	広島市は、中国地方全体を統括する国の行政機関や民間企業の支店が集中しており、この地方の政治・経済の中心地となっています。このような都市は「地方中枢都市」と呼ばれ、他にも札幌市、仙台市、福岡市などが該当します。また、広島市は1980年に政令指定都市にも指定されています。
問7	答え 3 化学工業	山口県は瀬戸内工業地域の一角を担っており、戦前から発達していた石炭化学や、戦後の石油へのエネルギー転換に伴って整備された石油化学コンビナートが海岸沿いに集積しています。そのため、製造品出荷額に占める化学工業の割合が、自動車産業（輸送用機械）が盛んな広島県などと比べて突出して高いのが特徴です。
問8	答え 3 中国山地の北側に位置し、冬には雪が降りやすい日本海側の地域。	鳥取県は、中国地方を細分化した際の「山陰」にあたります。山陰地方は日本海に面しており、冬に湿った北西の季節風が中国山地にぶつかるため、雪や雨が多い気候特性を持ちます。これに対し、広島県や香川県が属する瀬戸内海沿岸の地域は、山地に挟まれているため年間を通じて降水量が少なく、温暖な気候が特徴です。
問9	答え 4 瀬戸内地方特有の温暖な気候に加え、日当たりの良い傾斜地が豊富にあるため	愛媛県の柑橘栽培が盛んな理由は、地形と気候の双方にあります。瀬戸内海沿岸は冬でも温暖で雪が少なく、柑橘の生育に適しています。また、海岸近くまで山地が迫っている地形は、水はけが良く太陽の光をたっぷり浴びることができる「傾斜地」を提供しており、これらが組み合わせることで高品質な果実が生産されています。降水量が多い地域や平野部での大規模経営、近郊農業の説明は、愛媛県の果樹栽培の主因とは異なります。
問10	答え 2 付近を流れる暖流の影響で年間を通して温暖であり、南向きの斜面で日当たりが良く、排水や寒暖差の条件が適しているため。	四国地方の南部は、日本列島の太平洋側を流れる黒潮（暖流）の影響を強く受けるため、冬でも凍結しにくい温暖な気候が保たれます。また、山地の南側斜面は日照時間が長く、果実の糖度を高めるのに必要な日光を十分に確保できるほか、傾斜地であるため水はけが良いという利点があります。これに加えて、台風の通過による多量の降水といった気象条件も、この地域の農業に大きな影響を与えています。
問11	答え 2 北側の中国山地と南側の四国山地が、湿った季節風を遮る壁のような役割を果たしているため	瀬戸内地域は北を中国山地、南を四国山地という険しい山地に挟まれています。夏は太平洋側から吹く湿った季節風が四国山地によって、冬は日本海側から吹く湿った季節風が中国山地によってそれぞれ遮られます。湿った空気は山を越える際に雨や雪を降らせるため、それらの山を越えて瀬戸内側に吹き込む風は乾燥した状態になり、結果として年間降水量が少なくなります。
問12	答え 1 ため池	瀬戸内の地域は、夏は四国山地、冬は中国山地が湿った空気を遮るため、雨が非常に少ない地域です。大きな河川も限られているため、稲作などに必要な農業用水を確保するために雨水を貯めておく「ため池」が発達しました。特に香川県の讃岐平野などには、現在も数多くの池が点在しています。